

評価結果報告書

1. 評価の視点

4 歳児 「トラブルが起きた際の対応（言葉かけ・援助）」

2. 分科会評価者からの、意見、感想、アドバイス

工作・ブロック・ままごと遊び・自然物を使った遊びなど、友だちと一緒に遊びを深めている。友だちとの関わりが深まってきたことで、トラブルがあると友だち同士で話し合い、解決しようとする姿が見られる。一方で、トラブルになっても、泣かずに気持ちを伝えたり、友だちの気持ちを考えたりと、友だちの意見を聞いてあげられるようになってほしいと願っているが、自分の気持ちを上手く伝えられずに泣いてしまったり、傷つける言葉を言ってしまったりすることがある。そのような場面について意見を頂きたいと思い、今回の問いを作成した。当日は、思い思いの遊ぶ時間や、振り返りなどの普段の朝の様子、絵具遊びの様子を見てもらった。

朝の時間では「トラブルについてクラス全体で話し合う機会を作っているのはとても良かった」「ルールや約束事が守れなかったりするときは、クラス全体で話し合ったり、再確認する機会を作っていることに共感した」等のトラブルをクラス全体で共有して考えられる思い思いの振り返りについての意見、『～しないで』『～やって』など否定的な言葉や命令的な言葉が少なかったので良いと思った」と保育者の言葉掛けについての意見があった。

トラブルが起きた際の対応としては「一度落ち着けるようそのまま見守り、クールダウンしてから話を聞くようにしている」「上手く伝えられない子のかわりに保育者が代弁してあげる」「自分が言われたらどんな気持ちになるか、言われた相手の立場になって考えられるようにしている」等の意見があった。『ふわふわ、ちくちく』という絵本がある」「紙を使ってチクチク言葉を言われて傷ついた心を可視化するのもいい」等のアドバイスをもらい、すぐに活用できることなので、自分の保育に取り入れていきたい。

分科会では「言った、言っていない（お互いの勘違い）」「～された、～やられたと保育者に伝える」「周囲が意識できるようになったからこそ、一番にこだわる」「保育者の見えないところで、『〇〇ちゃんがいると楽しくない』と友だちに言ったり、内緒話をしたりする子がいる」等のそれぞれの園でのトラブルの様子も聞くことができた。4歳ならではのトラブルで、共感し合うことが多く、同じような課題を抱えていること分かった。園の活動内容やトラブル、トラブルの対応方法を共有する貴重な話し合いができ、とても勉強になった。

クラス活動について「優しく和やかにクラス活動が始まってよかった」「個々の気持ちを大切にしながら、ゆったりなびのびと活動ができていてよかった」「子どもの興味に寄り添い、温かいおだやかな雰囲気活動ができていてよかった」等のプラスな意見を頂き、今までの保育が間違っていなかったと自信に繋げることができた。頂いた意見を保育に活かし、より良い保育へと繋げていきたい。